

一般廃棄物処理基本計画の施策取組み状況

(施策体系)		施策概要	担当課		区分	23年度の実施状況	本年度取組み状況	備考
基本方針・施策			所管課	係				
基本方針1 3Rの推進								
1-1)	発生・排出抑制の啓発・支援	ごみの発生・排出抑制の様々な手法・場面での啓発や取り組み支援を継続する	減量推進課	減量推進係	継続	啓発のぼりの交換・配布 マイバッグ持参のぼり 30か所(88枚) 廃食用油回収のぼり 6か所(20枚) リサイクルバンク等の広報	損傷のぼりの随時交換 リサイクルバンク等の広報	
1-2)	広報機能の充実	ごみ処理に関する情報提供について、引き続きタイムリーで見やすく分かりやすい広報に努める	廃棄物対策課	業務係	継続	広報えべつ掲載 5月、7月、10月、1月、2月、3月号 コミえべつ掲載 4月、9月、12月 HP掲載 ステーション設置手引きアップ(通年)(適宜更新) その他 適宜周知・啓発等を行う	・分別方法検討 ・廃棄物の不法投棄等の情報提供協定の締結 ・ごみの出し方相談ダイヤル設置 ・ごみ処理の費用と手数料をごみコミえべつ45号に掲載	
			減量推進課	減量推進係	継続	ごみ処理に関する情報提供 広報えべつ 24件掲載、ごみコミえべつ 3回発行 分別の手引き・カレンダー 各1回発行 ホームページの随時更新(手引きのアップ)	(12月現在) 広報えべつ 15件掲載、ごみコミえべつ 3回発行 収集日カレンダー 1回発行 ホームページの随時更新(よくある質問アップ)	分別の手引きは経費面の理由から隔年発行とした
1-3)	環境教育(学習)の推進	・環境教育教材等を充実し意識の醸成を図る ・施設見学により3Rの推進をより広く理解してもらう ・関係団体と連携し出前講座の充実に努める	施設管理課	施設係	継続	見学者実績 リサイクルセンターのみ見学 283名 環境クリーンセンターのみ見学 873名 両施設の見学 87名	見学者 (12月現在) リサイクルセンターのみ 272名 クリーンセンターのみ 747名 両施設 251名	環境講座においても作成したパンフレット(江別市のごみ)を配布して啓発している。
			減量推進課	減量推進係	継続	小学生向けパンフレット作成 2,000部作成 出前講座開催 3回(114人参加)	小学生向けパンフレット作成 2,000部 出前講座開催 1回(20人)	環境講座開催 18日(H24.12現在 19日)
1-4)	市民団体等との協働	市民団体との連携を深め、協働に向けた取り組みを積極的に進める	減量推進課	減量推進係	継続	江別消費者協会や江別市女性団体協議会と連携し、ごみの排出抑制事業を実施	江別消費者協会：使用済割箸回収、講習会、エコ講座 江別女性団体協議会：生ごみ堆肥化講習会	
1-5)	生ごみ減量化の推進	堆肥化容器等の購入助成、生ごみの水切り啓発など生ごみ減量の継続的な普及・啓発を行う	減量推進課	リサイクル係	継続	堆肥化容器等の助成(登録：17店舗) 堆肥化容器助成 56台、電気式処理機助成 5台 堆肥化講習会開催 3回 水切り器モニター配布 35組、水切りポスター 100枚作成 女性協へのごみ減量化推進啓発業務委託 広報誌での啓発	(12月現在の実績) 堆肥化容器等の助成(登録：電気式13店舗、堆肥化4店舗) 堆肥化容器申請 110台、電気式処理機申請 10台 堆肥化講習会の開催 2回 女性協へのごみ減量化推進啓発業務委託 広報誌及び自治会回覧等での生ごみ減量化啓発	生ごみリサイクル事業実施に係る効果、課題について調査 平成24年5月14日 北広島下水処理センター視察 平成24年5月22日 中空知衛生施設組合視察
1-6)	リサイクルバンクの運営	不用品再利用の実践・啓発、地域循環の拠点として引き続き運営する	減量推進課	リサイクル係	継続	来場者数 6,129人 回収点数 1,397点 再利用点数 1,371点	広報等による事業の周知 (12月末現在実績) 来場者数 4,680人 回収点数 1,108点 再利用点数 1,102点	
1-7)	リユース活動の情報提供	リユース活動が広く市民に定着するよう広報等で情報提供していく	減量推進課	リサイクル係	継続	広報えべつでフリーマーケット開催情報を提供 広報掲載回数 10回(開催掲載日数 19日)	(12月末現在実績) 広報えべつにフリーマーケットの開催情報を掲載 広報掲載回数 8回(開催掲載日数 16日)	
1-8)	事業系食品残渣再利用の調査研究	食品残渣を飼料化・堆肥化によって再利用する食品リサイクルループの可能性について調査研究する	減量推進課	減量推進係	継続	平成23年7月28日 北海道バイオマスネットワーク会議出席 平成23年12月10日 廃棄物資源循環学会北海道支部セミナー出席 平成24年2月17日 北海道バイオマスネットワークフォーラム出席	平成24年7月6日 北海道バイオマスネットワーク会議出席 平成24年8月28日 北海道循環資源利用促進協議会出席 平成24年11月9日 資源リサイクルセミナー出席	
1-9)	集団資源回収の推進	資源回収の実施団体名・回収品目等の情報提供を強化していく	減量推進課	リサイクル係	継続	登録団体の223団体に対し5月と9月にチラシを郵送 実施団体数 207団体、回収量8,157t	広報えべつ(7月号)及びホームページ等で制度について周知 (前期実績) 登録団体数 224団体 実施団体数 208団体、回収量 4,173t	H25.2月に回収促進と新規登録団体募集のため自治会回覧を実施
1-10)	資源物収集の品目拡大の検討	排出の利便性や処理コスト等を踏まえた分別品目の拡大を検討する	減量推進課	減量推進係	継続	平成24年2月 群馬県太田市、東京都立川市を視察 生ごみの分別、リサイクル事業実施の場合の分別、費用、課題などその可能性を調査研究	リサイクル事業実施の場合、分別・施設整備及び維持管理費用・課題などその可能性について調査研究	
1-11)	事業者の自主回収ルートの活用	店頭回収の取組状況を把握し、その情報提供により事業者回収の活用を図る	減量推進課	減量推進係	継続	ホームページに回収状況掲載(市内16か所) 缶類5か所、ペットボトル6か所、紙パック11か所 白色トレイ10か所、廃食用油10か所	昨年に引き続きホームページに回収状況掲載	
1-12)	植物性廃食用油の拠点回収の情報提供	バイオディーゼル燃料の活用の推移を見守りつつ、引き続き回収拠点について情報提供していく	減量推進課	リサイクル係	継続	回収拠点10か所、回収量9,265ℓ	自治会回覧、ごみコミえべつに啓発記事を掲載 (12月末までの実績) 回収拠点数 10か所、回収量 8,098ℓ	
1-13)	布類の拠点回収の拡充	市民団体と協力しながら回収拠点の拡充を進める	減量推進課	リサイクル係	継続	市民活動センター・あい、フリーマーケット会場及び集団資源回収(50団体)で回収 回収量 23,058kg	(9月末までの実績) 市民活動センター・あい、フリーマーケット会場、集団資源回収(56団体)にて回収 回収量 11,853kg	H25.2月に布類を含めた集団資源回収促進のため自治会回覧を実施
1-14)	使用済小型家電の回収	イベント活用による回収状況を見ながらその手法を検討する	減量推進課	リサイクル係	継続	イベント回収の実施 回収量453kg (5月消費者フェスタ208kg、6月環境広場245kg) H24.2月から市内家電量販店1店に回収ボックスを設置し 店頭回収開始 回収量 71kg	イベント回収 回収量 995kg (6月環境広場441kg、8月消費者フェア117kg、9月ガス展437kg) 市内家電量販店での店頭回収(12月末までの実績) 回収拠点数 2か所、回収量 15,285kg	
1-15)	グリーン購入の推進	引き続き環境に配慮した物品や再生品の優先的な選択、購入を推進する	廃棄物対策課		継続	江別市グリーン購入調達方針に沿って環境ラベルが付いている商品の購入に努めた	江別市グリーン購入調達方針に沿って環境ラベルが付いている商品の購入に努めている	全市的には、平成24年度上半期は、納入印刷物、オフィス家具等、自動車等で調達目標100%を達成し、続いて文具類が97.4%となりましたが、LED等の電球形状のランプの調達率が低くなっている状況です。
			施設管理課	施設係	継続	必要性、品質を良く考え環境への負荷ができるだけ少ないものにし、カドラン適合物品(グリーン購入)を積極的に購入した	前年同様	
			減量推進課	減量推進係	継続	必要性の有無及び品質を考慮し、環境への負荷が少ないものを選択	再生品の購入をはじめ、環境に配慮した製品の購入に努めている	

一般廃棄物処理基本計画の施策取組み状況

(施策体系)		施策概要	担当課		区分	23年度の実施状況	本年度取組み状況	備考
基本方針・施策			所管課	係				
<b>基本方針2 適正なごみ処理の確保</b>								
2-1)	安全・安心なごみ処理体制の確保	運転の効率化や施設の適正な維持管理に努め継続して安心・安全なごみ処理を行う	施設管理課	施設係	継続	不具合による施設停止 2日	不具合による施設停止が発生しないよう予防保全を進め、維持管理運営に努める	
2-2)	民間処分業者の活用	必要に応じた許可品目の拡大など、民間処分業者の活用を図る	減量推進課	減量推進係	継続	処分業許可品目について民間処分業者と協議 角山開発(株)に、畳・紙くずの許可品目を追加 (平成23年度実績 畳80kg)	処分業者と協議を行い、許可品目拡大へ働きかける	
2-3)	在宅医療廃棄物の適正処理	医療関係者との協議により収集・処理の範囲を明確化し適正処理を図る	減量推進課	減量推進係	継続	医療関係機関と協議 広報えべつ(ごみコミえべつ)、分別の手引き等に掲載し市民に周知	ホームページ「よくある質問」に在宅医療廃棄物の処分方法を掲載	
2-4)	地域生活環境の保全	・不法投棄・野焼き防止の啓発・監視の強化 ・ごみステーション管理の地域の取組を支援 ・共同住宅入居者への排出ルール徹底の継続	廃棄物対策課	業務係	継続	のぼり設置 野焼き7か所21枚、不法投棄20か所86枚 不法投棄看板 防止65か所、小学生作成看板10か所 カラス除けサークル 貸与数36基(市内全域636基設置) 市内全域のパトロールによる不適正排出者への指導 枝木・廃木材等の残置シールの検討	○のぼり・看板・カラス除けサークル貸与の継続 ○廃棄物不法投棄等の情報提供協定の締結 (江別ハイタク協議会、江別ハイヤー、日本郵便江別・野幌両支店) ○枝木・廃木材の残置シールの改正	
2-5)	事業系ごみの適正処理	・事業所への指導・啓発 ・多量排出事業所の指導強化	減量推進課	減量推進係	継続	市内介護事業所を対象に事業系ごみ適正処理セミナーを開催 開催月日：平成24年2月16日(25人参加)	事業系ごみの分別・処理方法などについての指導・啓発を行うため、飲料店組合や振興会加盟店を対象に事業系ごみ適正処理セミナーを開催	平成25年2月13日 野幌公民館にて開催

<b>基本方針3 市民の視点に立ったごみ処理システムの構築</b>								
3-1)	大型ごみ収集区分の新設	大きなものや発火の危険性のあるもの、硬いかたまり状のものを申込により戸別に収集する大型ごみ収集区分を設置	減量推進課	減量推進係	継続	分別の手引きに掲載し市民へ周知 収集開始から1年経過の状況について報告書を作成	広報えべつ 1件掲載(12月現在) ホームページ よくある質問等へのアップ	
3-2)	指定ごみ袋の統合と新設	ごみ袋の使い分けの手間、保管・販売の手間、作成・配布の費用負担軽減のため指定ごみ袋を統合し、合わせて少量袋を新設	廃棄物対策課	庶務係	継続	平成22年10月から実施し、平成23年度も継続して実施 手数料収入枚数 5リットル袋 131,642枚、10リットル袋 786,622枚、 20リットル袋 1,791,632枚、30リットル袋 1,268,469枚、 40リットル袋 997,092枚	継続して袋統合と少量袋新設の状況把握 (12月末現在の状況) 5リットル袋 118,796枚、10リットル袋 630,791枚、 20リットル袋 1,640,253枚、30リットル 985,889枚、 40リットル袋 775,018枚	
3-3)	ごみ処理手数料の減免拡大	常時紙おむつが必要な方への経済的な負担軽減として要介護高齢者や2歳未満の乳幼児等に減免対象を拡大	廃棄物対策課	庶務係	継続	交付件数 2,477件 交付枚数 202,750枚	拡大の実施状況把握と検証・確認を継続 広報えべつ8月号に制度周知記事記載 (12月末現在) 交付件数 3,017件、交付枚数 218,640枚	
3-4)	ごみ出し困難者に対する収集方法の検討	高齢者や障がい者の単身世帯化等によりごみ出しが困難な世帯の増加に伴い収集方法の在り方を検討する	廃棄物対策課	業務係	未実施			基本計画後半に導入に向け検討
3-5)	燃やせるごみの早期収集	収集業務の地区割り・ルートなど収集体制の在り方を検討し早期収集に努める	廃棄物対策課	業務係	継続	収集区分各データの把握・検証	収集区分別現地終了時間などのデータを把握	

<b>基本方針4 経済的・効率的なごみ処理の推進</b>								
4-1)	施設の維持管理の推進	施設の長期修繕計画を策定し日々の点検、整備を継続するとともに、管理型最終処分場の安全性を確保していく	施設管理課	施設係	継続	平成24年度から平成29年度までの6か年の整備計画の検証を終了	平成30年度から平成33年度までの3か年の整備計画の検証を行う	
4-2)	収集運搬業務の一括委託	行政収集に係る収集運搬業務の一括委託で効率化を図る	廃棄物対策課	業務係	継続	収集運搬業務の一括委託により当該業務の効率性が向上した	24年度においても継続して一括委託を実施し効率的に事業を実施している	
4-3)	資源物・危険ごみの同日収集	誤排出などの支障を解消し車両の効率的な運用を可能とするため資源物と危険ごみを同日収集とした	廃棄物対策課	業務係	継続	資源物・危険ごみを同日収集としたことで、危険ごみが適正に排出されることになった	平成24年度も継続して同日収集を行うことで収集時の支障が解消され効率的な運用を確認を行っている	
4-4)	燃やせないごみの収集回数の見直し	排出量に応じた燃やせないごみの収集回数を見直しを行った(繁忙期を除く)	廃棄物対策課	業務係	継続	収集量、収集回数等について確認し検証を図ることができた	平成24年度においても継続して収集量等の検証を行っている	
4-5)	ごみ処理業務の委託拡大	業務水準や安全性を維持し、ごみ処理費用の抑制のため、定型的な業務の委託拡大を図る	廃棄物対策課		継続	指定ごみ袋等管理業務を一括委託 (袋等の製作・保管・配送及び手数料等の収納業務) 収集運搬と密接に関連する業務の年度計画決定	ごみ収集運搬業務と密接な業務(ごみの出し方相談ダイヤル設置など)の一部を委託 年次計画に基づき実施予定	
4-6)	環境クリーンセンター処理手数料の検討	排出抑制、費用負担の公平化、指定ごみ袋や大型ごみとのバランスに配慮した手数料の在り方を検討する	廃棄物対策課	庶務係	未実施	道内各市の手数料額の調査を実施 原価算定対象経費及び収入状況並びに道内各市の手数料額比較などにより検討した結果、手数料改定を見送り		江別市では概ね3年単位を基本に見直し作業を行っていることから、検討は市の見直し時期に合わせて検討
4-7)	リサイクルバンク利用者負担の検討	利用による不公平をなくし、持続的な運営確保のため、費用負担の在り方やその手法等について検討する	減量推進課	リサイクル係	未実施	(利用者負担を加味して検討)	(利用者負担を加味して検討)	施設の賃借期間終了の26年6月までに、大型ごみ制度との関連や運営の在り方について25年度に検討を行う
4-8)	広報誌等への有料広告掲載の募集	清掃部門における定期広報物等への有料広告掲載の募集を行う	減量推進課	リサイクル係	継続	24年度ごみ収集日カレンダーに有料広告を掲載するため予算要求、広告掲載要領及び募集案を作成	24年度ごみ収集日カレンダーの広告募集、受付、審査決定、掲載及び広告料収納 掲載 3社(4枠)、広告料収入 252千円	25年度の発行の収集日カレンダーと分別の手引きに掲載するため予算要求
4-9)	新しいコスト計算手法の導入研究	事業費用の必要性や効率性等を全国統一的な基準と比較検証ができるよう新しい計算手法の導入を研究する	減量推進課	減量推進係	継続	会計基準の他市の状況把握と環境省の「一般廃棄物会計基準」についての研究	他市の状況把握と一般廃棄物会計基準の研究の継続	一般廃棄物会計基準は国の段階で未完成